

それでもなお、人を愛しなさい マザー・テレサ研究家 もり たまみ著より

子育てワンポイント 励ましのことば35

バックナンバーはHPからご覧頂けます

自ら経験したことがおありますか？

アフリカにこんな諺（ことわざ）があります。

「カミソリがほしいと泣く子供には、渡しなさい」

その心は「実際に体験してもらいたいなさい」です。

子どもにカミソリを渡したら、高い確率で怪我をします。

そして怪我をした子どもこそ、次から「危ない」ということを

学ぶだろうという意味が込められています。

たしかに「あれはダメ、これもダメ」とすべて禁止するよりも、「危ない」と思うことでも、自ら体験してもらうのが一番学ぶ機会ということもあるものです。もちろん「どの程度」というのはありますが、一種の教育哲学が込められています。

人はどうやって、物事を学ぶのか。それにはいろいろな説があります。

- ・ケーラーの洞察学習論=よく考えた末のひらめきが大事
- ・ガニエの累積学習論=小さい学習が積み重なって大きな学習になる
- ・ソーンダイクの試行錯誤理論=いろいろ経験して、試行錯誤して学ぶ
- ・バンデューラの社会的学習理論=他者を見て学ぶ

まさに百花繚乱という感じで、様々な説がありますが、どの学説にせよやはり、「自ら学ぶ」大切さは変わりがないと思います。自分の人生は自ら歩むものですから、ぜひ、いろいろな経験をし、させてみてください。そして他者に対しても寛容になってください。それは「何かを学ぶ大切な機会」かもしれません。

私の愛読している本を紹介できて幸せです。本の帯には、「たとえ余命が3ヶ月でも人は幸せになれる」…これはそう信じて愛を実践したマザー・テレサだから言うことのできる言葉でしょう。子も親も「生涯学習」、学びながら子育てしてゆきましょう！ 牧師 倉知契



God is good all the time!

瀬戸カルバリー・チャペル

「子育てワンポイント」バックナンバーは、HPからご覧頂けます。

主日礼拝と木曜祈祷会を YouTube で配信中！

